

上風連の子



平成29年 10月6日(金) 発行責任者 校長 佐藤睦子

学校ブログのアドレス <http://www.aurens.or.jp/kids/>

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果について

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が届きましたのでお知らせします。

〈 結果概要 〉

- 【国語A】全国の平均正答率よりやや低い 【国語B】全国の平均正答率より高い
【算数A】全道の平均正答率と同等 【算数B】全道の平均正答率よりやや低い
(A問題は「主として知識」、B問題は「主として活用」です)

実施学年は6年生で、学校全体の結果ではありませんが、これまでの学習の成果と考えられます。今回の成果や課題については学校全体で共有し、今後の学習指導に生かしていきたいと考えています。

〈 本校児童の傾向 〉

今年度の全国学力・学習状況調査は、「国語A・B」「算数A・B」そして、「児童質問紙」で実施されました。本校の6年生の結果から、全校児童の傾向も踏まえながらの分析をしていきます。

1. 国語は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4つの領域に分かれています。その中で、国語Aにおいては、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域についてはよく理解できています。特に“ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること”や、“漢字を読む力”が身につけてきています。しかし、「読むこと」の領域の“手紙の構成を理解し、後付けを書く”や、“目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む”「話すこと・聞くこと」の領域の“互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う”に課題が見られました。今後、手紙の学習、実際に話し合い活動において共通点や相違点を聞きながら話し合いを深めることができる授業の工夫をしていきます。
2. 算数は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4つの領域に分かれています。その中で、算数Bにおいては、「量と測定」の領域の“平均”については、しっかりとできています。しかし、「図形」の領域“身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる”と「数量関係」では、割合を比較する理解に課題が見られました。また、全体的には、算数Bにおいては記述による説明文がかけないことにも課題が見られました。今後、既習事項につきましては、朝学習や家庭学習の取り組みを充実させて、確実に定着させるようにします。また、記述による説明の仕方については、授業等に取り入れ身につくようにします。
3. 児童質問用紙では、子ども達の日常生活リズムや授業についてのこと、学校生活についてのこと、家庭学習についてのことなど、多岐に渡り項目がありました。その中で、毎日の生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)については、ここ数年、しっかりとできています。十分な睡眠と朝食をきちんと食べることは、脳の活性化にも繋がるので、今後ともよろしく願います。また、自分の考えを持つこと、最後まで話を聞くことがしっかりできているのですが、友達の前で自分の考えや意見を発表することについて苦手とする回答がありました。次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現が大きなテーマに掲げられています。そのことも含め、少人数学級及び複式学級における効果的な指導方法の工夫や言語活動の充実を図っていきたいと思います。

〈 学 校 の 取 り 組 み 〉

これらの結果より、子ども達が生き生きと活動するため、本校では以下の7点を重点に取り組んでいます。

- ①少人数学級及び複式学級における効果的な指導方法の工夫
- ②個に応じたきめ細かな指導の充実
- ③学習規律の徹底（全校で統一した取り組み「学習のための10の約束」の徹底）
- ④ねらいを明確にさせた教育活動の充実（子どもに付けさせたい力の明確化）
- ⑤家庭学習の習慣化と学習内容の充実（学年×10分+10分以上）
- ⑥スピーチ活動の充実（全校朝会等における場の設定など）
- ⑦長期休業中の学習支援（冬季休業）

〈 ご 家 庭 へ の お 願 い 〉

子ども達の成長を願い、次の点についてご家庭にご協力をお願いします。

①家庭での学習習慣の確立

6年生の平均は、平日2時間以上勉強している子は66.7%、1時間以上は33.3%です。全国、全道比よりも高い結果となっています。町では家庭学習WEEKの取り組みを推し進めており、そこでも全員が取り組んでいることも分かっておりましたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、成果が出ていることが分かります。今後も継続していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

合言葉は、家庭での学習時間は「学年×10分+10分」「勉強をする時間、場所をきちんと決めて」よろしくお願いします。

また、テレビやDVD、ゲームをする時間は、3時間以上の数値は今では、低くなってきています。町ではスイッチOFF22やメディアコントロールの取組を推し進めており、本校では保護者の皆様のご理解もあり、成果が出ていることが分かります。テレビを見る時間やゲームをする時間につきましては、今一度、各ご家庭でのルールなどについて、お子さんと確認をして頂きたいと思っております。

②家庭内外での挨拶の徹底

起きた時、寝る時、食事の時、地域の人と会った時など挨拶・返事をする場面はたくさんあります。また、感謝の気持ちを伝える「ありがとう」の言葉はとても大切なものですいろいろなあいさつや返事を、これからは、自分から進んで言えるようになっていってほしいと思います。

最後に、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いませんか」という問いには、全員が『ある』『どちらかといえばある』と回答しています。子ども達は目標に向かって友だちと協力したり、自分の可能性を信じて諦めないで最後まで挑戦し続ける気持ちが子ども達の中に確実に成長してきていることをうれしく思います。これからも、しっかり学習に取り組み、友達の気持ちを考え、助け合いながら、どんな困難にも逃がずに立ち向かっていけるように、学習・生活両面において学校でも精一杯の支援をしていきます。今後も上風連小学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力、よろしくお願いします。

